

くわしい内容を見る方法

だい　じ　よこはましだんじょきょうどうさんかくこうどうけいかく　そあん　よこはましう　え　が　さい　と　み
第6次横浜市男女共 同 参画行動計画(素案)は、横浜市ウェブサイトで見ることができます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/danjo/keikaku/kodokeikaku/dai6jikeikaku.html>

つぎ　ばしよ　そあん　さつし　み
次の場所で、素案を冊子で見ることができます。
く　やくしよこうほうそうだんかかり　よこはましし　みんじょうほう　せ　ん　た　ー　よこはましちやうしゃ　かい　よこはましせいさくけいえいきよくだんじょきょうどうさんかくすいしんか
区役所広報相談 係／横浜市市民情 報センター(横浜市庁 舎 3 階)／横浜市政策経 営 局男女共 同 参画推進課
よこはましちやうしゃ　かい　よこはましだんじょきょうどうさんかく　せ　ん　た　ー　とつかく　あおぼく　みなみく
(横浜市庁 舎 9階)／横浜市男女共 同 参画センター(戸塚区／青葉区／南 区)

あなたの意見を伝える方法

ほしゅうきかん　れいわ　ねん　がつ　にち　きんようび
○募集期間　令和8(2026)年1月23日(金曜日)まで

いけん　おく　かた
○意見の送り方
よこはましでんし　しんせい　とどけでし　す　て　む
横浜市電子申請・届出システム

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/5d43d8d0-054d-4592-8bd8-4eb0180f77bd/start>

みぎ　こーど　かめら　よ　と　いけん　にゅうりよく
右のコードをカメラで読み取って、意見を入　力してください。
め　ー　る
メー　　ル　　ss-danjoiken@city.yokohama.lg.jp
ゆうそう　　〒231-0005　よこはましなか　く　ほんちやう　　ちやうめ　　ぼんち
郵送　　横浜市　中区　本　町　6丁目50番地の 10
よこはましせいさくけいえいきよくだんじょきょうどうさんかくすいしんかあて
横浜市政策経 営 局男女共 同 参画推進課宛

ふあつくす　045-663-3431
FAX
ちゅういじ　こう
○注意事項
でんわ　し　やくしよ　く　やくしよ　まどぐち　いけん　つた
・電話や市役所・区役所の窓口などで意見を伝えることはできません。
いけん　へんじ
・意見ひとつひとつにお返事はしていません。
いけん　けいかく　き　さんこう
・みなさんの意見は、計画を決めるときの参考にします。
いけん　なまえ　け　し　かんが　かた　あと　う　え　が　さい　と　し
意見は、名前などを消して、市の 考 え方といっしょに、後でウェブサイトでお知らせします。
ひと　こま　いけん　し
ただし、ほかの人が困るような意見は、お知らせしません。
いけん　おく　か　なまえ　こじんじやうほう　し　まも　ただ　かんり
・意見を送るときに書いた名前などの個人 情 報は、市のきまりを守って、正しく管理します。

連絡先

よこはまし　せいさくけいえいきよく　だんじょきょうどうさんかくすいしんか
横浜市　政策経営局　男女共同参画推進課
よこはましなか　く　ほんちやう　　ちやうめ　　ぼんち
〒231-0005　横浜市　中区　本町6丁目50番地の 10
でんわ　　ふあつくす
電話　045-671-2017　FAX　045-663-3431
め　ー　る
メー　　ル　　ss-danjoiken@city.yokohama.lg.jp

れいわ　ねん　がつはっこう
<令和7(2025)年12月発行>

にほんごばん
やさしい日本語版

だい　じ　よこはましだんじょきょうどうさんかくこうどうけいかく　そあん

第6次横浜市男女共同参画行動計画(素案)

し　み　ん　い　け　ん　ほし　ゆう

市民のみなさんから意見を募集します

ほしゅうきかん　れいわ　ねん　がつ　にち　きんようび
募集期間:令和8(2026)年1月23日(金曜日)まで

よこはまし　だい　じ　よこはましだんじょきょうどうさんかくこうどうけいかく　そあん　けいかく　じ　ぶ　ん
横浜市は、「第6次横浜市男女共 同 参画行動計画(素案)」をまとめました。この計画は、だれもが自分らし
い　しゃ　かい　め　ざ　そあん　しみん　いけん　ほし　ゆう
く生きられる社会を目指しています。この素案について、市民のみなさんから意見を募集します。

けいかく　き　かん　れいわ　ねん　ど　れいわ　ねん　ど　ねんかん
計画の期間　令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間

よこはまし　め　ざ　い　かた　えら
横浜市が目指すまち　「だれもが、いろいろな生き方を選ぶまち」

大切にしている 考 え

えすでいーじーず　たいせつ
S D G s を大切にすること

よこはまし　えすでいーじーず　じ　ぞく　かの　う　かい　は　つ　も　く　ひ　やう　かんが　たいせつ　とりく　み　じ　え　ん　だ　ー
横浜市は、S D G s (持続可能な開発目 標)の 考 えを大切にします。いろいろな取組に、ジェンダーの
かんが　かた　い　じ　え　ん　だ　ー　び　やう　ど　う　し　ゃ　かい　め　ざ
考 え方を入れることによって、ジェンダー平 等 社会を目指します。

し　やく　し　よ　だん　たい　き　やう　り　よく
市役所とさまざまな団体が協　力すること

しゃ　かい　もん　だ　い　ふ　く　ざ　つ　よこはましだんじょきょうどうさんかく　せ　ん　た　ー　ち　い　き　が　っ　こ　う
社会の問題は、複雑で、むずかしくなっています。そのため、横浜市男女共 同 参画センターや、地域や学校、
かい　し　ゃ　え　ぬ　び　ー　お　ー　し　み　ん　だん　たい　やく　し　よ　き　やう　り　よく
会社、N P O (市民の団体)、役所などが協　力します。

し　やく　し　よ　じ　え　ん　だ　ー　し　ゆ　り　ゆ　う　か
市役所でのジェンダー主流化

し　やく　し　よ　し　やく　し　よ　だん　じ　よ　き　やう　ど　う　さん　かく　す　す
市役所は、いろいろな分野の取組で、男女共 同 参画※を進めます。
※男女共 同 参画　:男性と女性が同じように参加して、ものごとを決めることができるようにすること

計画が目指すこと

せい　さく　じ　よ　せい　か　つ　やく　す　い　しん　は　た　ら　し　よ　く　ぼ
政策1　女性活躍の推進と 働　きやすい職場づくり

いつでも、どんな場所でも、男性と女性で差がなく、家庭と仕事をどちらも大切にできて、自分に合った生き方
え　ら　し　ゃ　かい　め　ざ
を選ぶ社会を目指します。

せい　さく　あん　ぜん　あん　しん　く　じ　つ　げん
政策2　安全・安心な暮らしの実現

せい　ほう　り　よく　み　ち　か　ひと　ほう　り　よく　かね　にん　げん　かん　けい　こま　あん　しん　せい　か　つ　し　ゃ　かい
性暴力や身近な人からの暴力がなく、お金のことや、人間関係などで困らない、安心して生活できる社会を
め　ざ
目指します。

せい　さく　だ　れ　い　い　し　やう　が　い　か　つ　やく　ち　い　き　し　ゃ　かい
政策3　誰もが生き生きと生　涯　活躍できる地域・社会づくり

だん　せい　じ　よ　せい　やく　わり　き　せい　べ　つ　ち　が　り　ゆう　こま　おも　し　ゃ　かい
男性・女性の役割の決めつけをなくします。性別の違いが理由で困ったり、いやな思いをしたりしない社会を
め　ざ
目指します。

法律との関係

けいかく　よこはましだんじょきょうどうさんかくすいしんじやうれい　つく　き　だんじょきょうどうさんかくし　ゃ　かい
この計画は、「横浜市男女共 同 参画推進条 例」で作ることが決められています。また、「男女共 同 参画社会
き　ほん　ほう　はい　ぐ　う　し　ゃ　ほう　り　よく　ほう　し　お　よ　ひ　が　い　し　ゃ　ほ　こ　う　かん　ほう　り　つ　で　い　ー　が　い　ほう　し　ほう　じ　よ　せい　し　よ　く　ぎ　やう　せい　か　つ
基本法」「配偶者からの暴 力の防止及び被害者の保護等に関する法律(D V 防止法)」「女性の 職　業　生活にお
か　つ　やく　す　い　しん　かん　ほう　り　つ　じ　よ　せい　か　つ　やく　す　い　しん　ほう　れ　い　わ　ねん　　がつ　は　じ　こん　なん　もん　だ　い　か　か
ける活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」,そして令和6(2024)年4月に始まった「困難な問題を抱え
じ　よ　せい　し　え　ん　かん　ほう　り　つ　じ　よ　せい　し　え　ん　しん　ほう　き　けいかく
る女性への支援に関する法律(女性支援新法)」で決められた計画です。

とく 取り組むこと			
職場づくり 推進と働きやすい	施策1 働きたい女性・働き続けたい女性の活躍を進める 女性の仕事やキャリアを支援し、働きたい女性と、仕事を続けたい女性の活躍を進めます。 主な取組:女性の仕事の支援 会社の女性管理職(リーダー)を育て、昇進を進める 会社を作る女性の支援	施策2 だれでも働きやすく、暮らしやすい社会をつくる 女性の活躍を進めたり、仕事と生活のバランスを取るために、だれでも働きやすく、活躍できる職場を増やしていきます。 主な取組:働く時間や場所が選べるなど、いろいろな働き方ができるようにする 仕事をしながら子育て・家族の世話ができるようにする	施策3 市役所での女性の活躍、男女共同参画と、働き方の見なおし 横浜市役所での女性の活躍や、男女共同参画を進めます。また、市役所の働き方を見なおします。 主な取組:市役所での女性の活躍 だれでも働きやすい職場づくり 市の大事なことを話し合う会議で女性の割合を増やす

政策2 安全・安心な暮らしの実現	施策4 身近な人からの暴力(D V)を止める、性別にかかわるすべての暴力をなくす 身近な人からの暴力(D V)を受けた人を、いろいろな人が協力して、続けて支援します。暴力が起こらないように若い人に教えたり、若い人が相談しやすくします。性別によるすべての暴力をなくすために呼びかけたり、暴力を受けた人を支援します。 主な取組: D Vの相談支援の仕組みをつくる 若い人のデートD V・性暴力を止める 暴力が起こらないように呼びかける	施策5 困りごとがある女性を支援する 困りごとがある女性を、いろいろな人が協力して支援します。 とくに、若い女性は困りごとがあっても相談をしないことや、支援を受けないことがあるので、民間の団体と一緒に、その人の生活や希望に合わせて、支援します。 主な取組:困りごとがある女性の支援 ひとりでこどもを育てるお母さんの仕事の支援 外国人・障害者などの支援	施策6 地域の災害への備えに男女が協力して参加する 地震、大雨、台風などの災害へ備えるための、女性のリーダーを育てます。また、地域のみなさんに、女性が参加することの大切さを知ってもらえるように取り組みます。災害が起きたときに、男性と女性で必要なことが違うことに気をつけます。 主な取組:地域の災害への備えに男性と女性が参加する 消防団での女性活躍を進める	施策7 いろいろな性のあり方を支援する、よく知ってもらう いろいろな性のあり方(※)をよく知ってもらうように、みなさんにお知らせします。L G B Tの人やいろいろな性の人が安心してすごせるように、みんなで工夫していきます。※いろいろな性のあり方:自分の性別をどう考えているか、どんな形や見た自の体をしているか、だれを好きになるか、などが人それぞれ違うこと 主な取組:いろいろな性のあり方について知ってもらう L G B Tやいろいろな性の人の相談・支援 パートナーシップ宣誓制度
---------------------	---	--	--	--

づくり 生涯活躍できる地域・社会	施策8 仕事と生活のバランスを取り、家事・子育て・家族の世話を家族で分担する 男性と女性の役割を決めつけず、家事を家族で分担するようにしたり、家事の負担を少なくしたりします。 主な取組:仕事と生活のバランスを取ったり、家事・子育て・家族の世話を家族で分担できるようにする	施策9 年れいや性別に合った健康支援をする 年れいや、性別によって違う健康の問題に対して、必要なサポートをします。また、健康について正しく知ることができるように支援します。 主な取組:だれでも安心して出産・子育てができるようにする 女性に多いがんの対策 性についての正しい知識を広める	施策10 地域や教育で男女共同参画を進める だれでも、性別に関係なく、一生涯活躍できるように、性別による「無意識の思いこみ(アンコンシャス・バイアス)」がなくなるように取り組みます。こどもや若い人が、性別に関係なく自分らしく生きられるように、学ぶ機会をふやします。 主な取組:地域で性別に関係なく活躍することの大切さを広める 困りごとがある男性を支援する 若い人に男女共同参画を知ってもらう
---------------------	---	--	---

せい かし の よう 成果指標		
だんじょきょうどうさんかくしゃがい 男女共同参画社会が、どのくらい進んでいるかを知るための目安です。		
成果指標(成果の目安)	いま すうじ 今の数字	もくひょう 目標
かんりしよく かちょうきゅういじょう 管理職(課長級以上)の女性の割合	市内企業 18.8% (2023年) 市役所 21.0% (2025年)	30%
いくじ 育児のための休みを取った男性の割合	市内企業 40.6% (2023年)	85%
	市役所 80.0% (2024年)	100%
だんせい じょせい かじ こそだ かぞく せわ ぶんたん 男性と女性の家事・子育て・家族の世話の分担 (平日・共働き世帯)	だんじょ かじ じかんひ 男女の家事の時間比2:1 (2024年)	だんじょ おな ぶんたん 男女が同じように分担するようにする
でいーがい D Vについて、よく知っている市民の割合※	せいしんてきぼうりよく 精神的暴力 58.0% (2024年) せい て きぼうりよく 性的暴力 79.9% (2024年)	それぞれ 10%増える
こま 困りごとがある女性を、みんなで支援できていると思う市民の割合	18.2% (2024年)	10%増える

※「横浜市男女共同参画に関する市民意識調査」で、精神的暴力、性的暴力を「暴力だと思う」とこたえた人の割合

けいかく すす かた 計画の進め方

- 市の職員は、男女共同参画についてよく理解するように努力します。
市のいろいろな分野で、男女共同参画の考え方を入れて、取組を進めます。
- これまで男女共同参画センターを知らなかったり、使うことがなかった市民にも、知ってもらったり、使ってもらえるようにします。
そのために、みなさんの近くに出かけて活動したり、地域の団体や会社などといっしょに取り組んだりします。
- 市民や会社、市民の団体などが協力して、いろいろな方法で取り組むことによって、市民のみなさんに、男女共同参画についてよく知ってもらえるようにします。